

平成 30 年 2 月 21 日

## 2 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木県では降雪の影響も余りなく、年度末に向けて間伐材を主体に順調な原木生産が続いている。年初に値下げに転じたスギ柱物は春先まで弱含みが続く見通しである。製材工場の引き合いは、まだ続いているものの、製品需要が落ち着き始めたので買い気が薄れて来ている。ヒノキ丸太は土台取りが依然として人気が高く、強保合が続いているが、今後の出材状況によっては値上げに転じることもありそうだ。

群馬県では降雪にもかかわらず、比較的順調に出材されている。各製材工場とも需要に一服感あり、当用買いが多い。原木価格は下落傾向にあるので、集荷はしやすい。公共工事が一段落し、新規の受注や見積等は減少している。スギの 3m105 角、4m90 角、4m105 角、ヒノキの 4m90 角、4m105 角が相変わらず品薄である。年末に値上がりした製品価格は横ばいを維持している。

### 2. 米材

米加北西部では平年通りの伐採が行われており、米国では順調に在庫が積み上がっているが、カナダでは依然として材不足が深刻である。ウエアハウザー社の 2 月積み対日価格(推定)は、在庫の積み上げが順調なことから、前月比で据え置き of \$1,040 となった。しかし米国内の製材工場の製材意欲が旺盛なため、来月積み価格は再度値上げに転じる可能性もある。ランダムレンジス紙の 15 種平均価格(2/2)は \$481/M で 1 月頭に比べ 9.4%アップ。冬場の不需用期にもかかわらず、SPF/DF の米国内価格が上昇しており、両樹種ともに \$500 の大台に乗り、史上最高値を更新中である。対日製材品価格のさらなる値上げも予想される。

12 月の原木入荷量は 238 千 $m^3$ と回復、1-12 月累計で 2,605 千 $m^3$ (前年比 6.7%減)、出荷量も 245 千 $m^3$ と復調、1-12 月累計では 2,659 千 $m^3$ (同 4.1%減)で出超。在庫量は前月に比べ 7 千 $m^3$ 減の 195 千 $m^3$ となり、在庫率は 1 ヶ月を割ったままである。国内の米材製材工場は 3 回目の値上げを通しての状況。

1 月の東京木材埠頭の米材製材品入荷量は 24 千 $m^3$ (前月比 10.3%減)、出荷量は 26 千 $m^3$ (同 14.0%減)、在庫量は 44 千 $m^3$ (同 3.9%減)。プレカット工場各社の動きが悪くなり、出荷も落ち込んでいる。

### 3. 南洋材

サバでは本格的な雨季で出材が低調なため、原木在庫は非常に少ない。サラワクも同様である。インドネシアでも出材低調で原木価格は全樹種で上昇中。PNG、ソロモンは中国の買い一辺倒で、多くの中国船が滞船。ウッドショック以来の高値圏に入り、しばらく下がる気配はない。2月予想の原木入荷量は14千 $m^3$ 、出荷は15千 $m^3$ で横ばい、在庫は今後も減少。製品入荷量は40千 $m^3$ と少ない。フリー板の市況が今ひとつ、平割は引き合いも少なく低位安定、バンキライとクルインはインドの買い付けにより価格は高騰中である。

### 4. 北洋材

冬山伐採期で搬出は順調だが、アカマツ良材の絶対量が不足し、日本向け供給が急減。輸入製品は貨車、コンテナ運賃の高騰、ルーブル高により価格は上昇。原木輸出価格はアカマツ、カラマツが材不品で強保合、現地挽き完成品は底を打ち急反転、アカマツ原板は供給不足により\$380から\$390へ上昇。現地挽き完成品の3cm×4cmの在庫は減り、価格は底を打った。3mタルキも入荷不足で荷動きが戻っている。12月原木入荷量は10千 $m^3$ 、出荷量5千 $m^3$ 、在庫量は21千 $m^3$ の2.42カ月。製品入荷量は43千 $m^3$ 、関東の現地挽き完成品の在庫は年末に30千 $m^3$ 台となり、供給が激減しているため引き合いは強い。

### 5. 合板

スギ、ヒノキ原木とも不足感は解消されていない。ロシア材の価格は横ばい、エゾマツ生産が多くカラマツは増えていない。原木輸出税の改定で不安が残る状況、米材は値上がり止まらず過去最高値を更新中、南洋材は原木の出材がさらに悪化し、価格は高止まりの状態にある。12月の国内合板生産量27.1万 $m^3$ のうち針葉樹合板は25.9万 $m^3$ 、出荷量25.7万 $m^3$ と前月より減少しているものの依然高水準である。在庫量10.6万 $m^3$ のうち構造用合板は8.9万 $m^3$ と微増だが、低水準の域にある。国産針葉樹合板の2月販売価格は基本的に横ばい、一部、長尺物は30円の値上げになった。針葉樹合板は9mm、15mm、輸入合板では薄物、塗装合板、ラワン構造用9mmの不足感が続いている。12月の合板輸入量は23.2万 $m^3$ で、大量輸入となった前月に比べ4.7万 $m^3$ の減少となった。とくにインドネシアからの輸入量が2017年で最小の5.7万 $m^3$ となった。産地インドネシアでは雨季による天候不順で稼働停止を余儀なくされている工場もあり、事態は深刻化している。マレーシアでも降雨により原木供給は不安定で2月の稼働は少なく、改善の目途が立っていない。

木建ルートでの納期遅れは、ほぼ解消され、今後の需要動向に一抹の不安はあるものの、全体的な在庫量の少なさや品目によって不足感が残っており、メー

カー主導による強気の展開が続くものと見られる。

## 6. 構造用集成材

昨年12月末から1月上旬にかけてラミナ入港が集中したため、各社とも在庫は潤沢である。ラミナRWは265~275ユーロ(前回比3~5ユーロ高)、WWは成約量等によりバラツキが見られる。1ユーロ134円としてRWラミナのコストは42,000円と前回比1,000円強の上昇となる。国内集成材メーカーの受注は好調だが、例年通り2月はRW梁桁の販売が若干落ち着いてきた。RW柱、WW柱、間柱の荷動きは鈍い。メーカーはラミナ価格の高騰を受けてRWは全般値上げ。輸入集成材のWW管柱、間柱は港頭在庫が多く、入港は減少傾向にある。欧州ではアメリカ向け間柱が好調なため、欧州サプライヤーからのオフアワー量が減少傾向にある。

## 7. 木材チップ

チップ原木の入荷は地区年初からの降雪でチップ原木の入荷は減少。FITにも原木が流れ、在庫は減少。解体材の入荷は例年並み。製紙用針葉樹チップは年末年始の入荷減、輸入チップの品薄と相まって増集荷が継続している。燃料用は冬期に多量の燃料を使用するため、消費量が増加し、増集荷体制にある。製紙用針葉樹チップ及び針葉樹原木ともに在庫が減少しており、各社は在庫を積み増しており、価格修正の動きがある。輸入チップは中国等の外的要因や為替レートの変動に伴い、先行き不透明感がある。

## 8. 市売問屋

1月の寒波、大雪の影響で製品が夏場の6割程度しか入荷しないので、スギ、ヒノキ構造材で不足材が出てきている。外材構造材も不足材がある。造作材は当用買い、外材のスプルス、ピーラーは値上げになっているが、売れない。製材所は値上げの傾向にある。

## 9. 小売

スギKD柱・小割・板割、ヒノキKD柱・土台は保合。外材はアカマツタルキ良材は品薄ながら保合、米ツガ角・平割とも品薄で強保合、SPF、米マツKDは強保合、WW間柱は保合。造作材ではスプルス、ピーラー平割保合、タモ平割強保合。集成材はWW柱・梁、RW梁・柱ともに保合。針葉樹合板は保合、型枠、塗装型枠は品薄で強保合。パーティクルボードは入荷待ちの強保合。構造材の値上がりで見積分の納材に苦労している。

2月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	↗
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	↗
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→